

「管理手法の確立を」

留萌開建
セミナー
港湾維持の技術を学ぶ

留萌開発建設部主催の地域づくりセミナー「港湾の施設維持管理講演会」が、17日午後2時から留萌開建1階会議室で開かれ、管内の市町村や留萌振興局の職員、建設業者ら約70人が港湾維持の技術について理解を深めた。

24年度3回目のセミナー

は、生活や経済活動を支える港湾の適切な維持・管理の促進と技術力、知識を高めよう」と開催。北海道大学大学院工学研究院北方圏環境政策部門の横田弘教授が「港湾維持管理計画について」をテーマに講演した。

横田教授は、「維持管理計画は未知の将来を予測することとさまざまな仮定、想像に基づく仮想の話。維持管理は現実として直面する事実を理解・評価するものであり、仮想と現実を混同してはいけません」と説明。

海水による鉄やコンクリー

トの腐食の進行について解説したほか、維持管理の手法として定期的な点検の厳守、点



関係者が港湾維持の技術について理解を深めた

留萌開建の地域づくりセミナー

検結果の記録・保管と必要な措置方針の決定、迅速かつ適切な対応を挙げ、「港湾施設にメンテナンスフリーはあり得ない。事後保全から予防保全への転換、主要部材とその他部材の区分および維持管理レベルの設定、総合評価の実施など、管理手法を確立することが重要」と述べた。

また、北海道開発局港湾建設課の岸哲也港湾保安保全推進員が、港湾の液状化に関する相談窓口や風力発電の導入を円滑にするマニュアルの策定などについて説明した。

(長谷見直也)